



# 高知医療センター

# PFI解消へ協議

## 企業団 同意 契約会社が提案

高知医療センター(高知市池)の経営危機問題で、病院PFI事業を受託する特定目的会社(SPC)が県・高知市病院企業団に対しPFI契約終了に向けた協議を提案し、企業団も同意したことが15日分かった。両者は今春から運営体制の見直し協議に入っていたが、今後は協議の軸をPFI契約そのものの終了に据える。全国初の導入例となった病院PFIは、開院5年目で終止符が打たれる公算が強まった。

(小笠原敏浩)

見直し。

これまで病院企業団議会などから契約解消を求める意見が出ていたほか、企業団も「現状のままでは契約を続けるのは難しい」との

### Q&A

病院PFI事業 医療

行為は公共の病院企業団が行い、それ以外の医師、材料調達業務などは民間の特定目的会社(SPC)に包括委託する。公共側には長期・一括発注によるコスト削減がメリットとされる。県、高知市はプロポーザル(提案)方式の審査で、オリックスを代表企業とするSPCと契約。契約期間30年間で事業委託費計2300億円余り。官直営より施設整備費を含め7・14%(約17億円)の財政削減効果を想定していた。

見解を示していたが、企業団とSPCが正式に議題にするのは初めて。ただ、実際に経営改善につながるかは未知数の部分もあり、契約解消に伴う医療現場との調整なども課題となりそうだ。

2005年開院の医療センターは08年度末で約7億6千万円の資金不足に陥るなど経営難が深刻化。収支改善策の早期実行に迫られている企業団は、見直し協議の期限を今秋とってきており、両者は09年度末の契約終了を念頭に協議を進めるとみられる。仮に契約終了になれば、SPCに包括委託している医療以外の業務が、個別発注に切り替えられる見

尾崎正直知事、岡崎誠也市長がSPCの中核企業であるオリックスを訪問し、運営体制を抜本見直しする方針を確認した。

関係者によると、6月8日の見直し協議でSPC側が提案。企業団は「現行PFIは自分たちが事業を実施するよりコスト高になっている」と主張してきており、契約解消が経営改善につながると判断して応諾したもようだ。16日の企業団議会臨時会で方針を示す

経営危機に直面する高知医療センター。施設の維持管理もPFIで民間に一括委託している(高知市池)

09年度末の契約終了を念頭に協議を進めるとみられる。仮に契約終了になれば、SPCに包括委託している医療以外の業務が、個別発注に切り替えられる見